

令和7年度
(2025年度)

こどもの予防接種日程表

岡谷市役所 健康推進課
電話23-4811(内線1182)

予防接種についてお悩みのことがありましたら
健康推進課までご相談ください。



全ての予防接種が、医療機関で行う個別接種です。

☆市で指定した医療機関において、1年を通じて接種できます。

☆事前に医療機関に予約してください。医療機関へは、必ず岡谷市が発行した予診票と母子健康手帳を持参してください。

- ☆里帰り出産等で県外の医療機関において予防接種を希望する方は、事前に健康推進課へ申請してください。
- ☆造血細胞移植により、移植前に受けた定期予防接種の再接種を希望する方は、費用の助成制度がありますので接種前に健康推進課へご相談ください。

予防接種を受けるとき

- 当日は予診票（体温以外）の両面を記入し、必ず母子健康手帳を持参してください。母子健康手帳がない場合は接種できません。
- 予診票に記入する**体温は、接種の直前に測ります。**
- 予防接種ガイドブック「予防接種と子どもの健康」をよく読み、予防接種について理解しましょう。
- 予防接種には、それぞれ適した年齢があります。対象年齢になりましたら、なるべく早い時期に接種を受けましょう。
- 予防接種は、体調の良い時に受けましょう。体調が悪い場合は、別の日程で受けましょう。
- 予診票裏面にある「保護者の方へ：セルフチェック表」を確認しましょう。（すべてのチェック欄に☑が付かない場合は接種ができない可能性があります。）接種間隔等ご不明な点がある場合は、健康推進課までお問い合わせください。

ワクチンの接種間隔について

- 注射生ワクチン同士**は、前の注射生ワクチンを接種してから**27日以上**（接種日の4週間後の同じ曜日から接種可能）の間隔を空けます。（注射生ワクチン…BCG、麻しん風しん混合、水痘、おたふくかぜ（任意）など）
- 注射生ワクチン同士以外**のワクチンを接種する場合は、接種間隔の制限がありません。前のワクチン接種からの間隔にかかわらず、医師が認める場合、別のワクチンの接種を受けることができます。
- 同じワクチン同士**の接種間隔は、それぞれのワクチンの決められた間隔を空けてください。（例：小児肺炎球菌初回1回目、2回目、3回目の間隔⇒それぞれ27日以上は空けてください）

令和6年10月1日から改正された予防接種について

小児の肺炎球菌感染症にかかる定期接種で使用しているワクチンは「沈降15価肺炎球菌結合型ワクチン」でしたが、令和6年10月1日から「沈降20価肺炎球菌結合型ワクチン」に随時切り替えています。ただし、初回1回目に15価肺炎球菌ワクチンで接種を開始している場合は、残りの接種を15価肺炎球菌ワクチンで完了しましょう。

◆4種混合ワクチンおよびヒブワクチンについてのお知らせ◆
4種混合ワクチンとヒブ（インフルエンザ菌b型）ワクチンを混合した5種混合ワクチンが、令和6年4月から定期接種に追加されました。
ただし、既に4種混合ワクチンとヒブワクチンを別々に接種開始している場合は、原則下記の2種類のワクチンを引き続き別々で接種し、それぞれ全4回の接種を早めに完了しましょう。

ワクチンの種類		対象年齢	回数	同一ワクチンの接種間隔
注射不活化ワクチン	4種混合 (ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ)	生後2か月～ 7歳6か月未満	4回	混合ワクチン第1期 初回：3回（20日～56日の間隔） 追加：1回（3回目終了後1年～1年半）
注射不活化ワクチン	ヒブ（インフルエンザ菌b型）	生後2か月～ 5歳未満	4回	初回：3回（27日～56日の間隔） 追加：1回（3回目終了後7～13か月） ※初回接種を開始する月齢・年齢で、 接種回数が異なります。

市が実施している定期予防接種（全て医療機関で行う個別接種です）

ワクチンの種類			対象年齢	回数	同一ワクチンの接種間隔	通知方法
経口 生ワクチン (飲むワクチン)	ロタウイルス	ロタリックス (1価)	生後6週 ～生後24週0日	2回	1回目と2回目は27日以上の間隔をおいて接種し、 24週までに完了する (1回目の接種は14週6日までに受けてください)	赤ちゃん訪問時に保健師 が予診票をお渡しします。 転入等で予診票がない場 合は、ご連絡ください。 ★ロタウイルスの予診票は 2枚のみのお渡しです。 ロタテックを希望する方は ご連絡ください。
		ロタテック★ (5価)	生後6週 ～生後32週0日	3回	1回目、2回目、3回目共に27日以上の間隔をおいて 接種し、32週までに完了する (1回目の接種は14週6日までに受けてください)	
注射不活化 ワクチン	B型肝炎	生後2か月～1歳未満	3回	・1回目と2回目は27日以上の間隔をおく ・3回目は1回目から139日以上の間隔をおく		
注射不活化 ワクチン	小児用肺炎球菌	生後2か月～5歳未満	4回	初回：3回 (27日以上おく) 追加：1回 (3回目終了後60日以上おき、かつ1歳すぎ) ※初回接種を開始する月齢・年齢で、接種回数が異なります。		
注射不活化 ワクチン	5種混合 (ジフテリア・百日せき・ 破傷風・ポリオ・ヒブ)	生後2か月～ 7歳6か月未満	4回	混合ワクチン第1期 初回：3回 (27日～56日の間隔) 追加：1回 (3回目終了後6か月～1年半)		
★4種混合ワクチンおよびヒブワクチンについてのお知らせ★ 4種混合ワクチンとヒブ (インフルエンザ菌b型) ワクチンを混合した5種混合ワクチンが、令和6年4月から定期接種となりました。 ただし、4種混合ワクチンとヒブワクチンを別々に接種開始している場合は、2種類のワクチンを引き続き別々で接種し、接種を完了しましょう。						
注射生ワクチン	BCG	生後5か月～1歳未満	1回			
注射不活化 ワクチン	日本脳炎	3歳～7歳6か月未満	3回	第1期 初回：2回 (6日～28日の間隔) 追加：1回 (2回目終了後おおむね1年あけて追加)	小学4年生 (平成27年 4月2日～平成28年4月1日 生まれ) に個別通知します。 (5月上旬予定)	
		9歳～13歳未満	1回	第2期		
注射 生ワクチン	水痘 (水ぼうそう)	1歳～3歳未満	2回	1回目から6か月以上12か月の間隔をおき2回目を 接種 ※医師に水痘 (みずぼうそう) と診断された 場合は、定期接種の対象外となります。	1歳の誕生日を迎えた 月の翌月に通知します。 例：令和6年4月生まれ→ 令和7年5月に通知が届く	
注射 生ワクチン	麻しん風しん混合 (MR)	1歳～2歳未満	1回	第1期	対象年齢の方に個別通知します。 (5月上旬予定)	
		平成31年4月2日～ 令和2年4月1日生	1回	第2期 (小学校に就学する前年度の年長児相当1年の間に接種)		
注射不活化 ワクチン	2種混合 (ジフテリア・破傷風)	11歳～13歳未満	1回	混合ワクチン第2期	小学6年生 (平成25年 4月2日～平成26年4月1日 生まれ) に個別通知します。 (5月上旬予定)	
注射不活化 ワクチン	子宮頸がん (HPV)	サーバリックス (2価)	12歳となる年度の 4月1日 ～ 16歳となる年度の 3月31日まで	3回	それぞれのワクチンの接種回数及び同一ワクチン間 の接種間隔等、詳しくは岡谷市ホームページでご確 認ください。 こちらの厚生労働省ホームページのQRコードから も、ワクチン接種の効果や接種スケジュール、HPVワ クチンに関するQ&A等ご覧いただけます。 ※シルガード9は1回目の接種が15歳未満 の場合、全2回で接種を完了できます。 (2回目の接種日が15歳以上になっても 2回で完了できます)	中学1年生 (平成24年4月2日 ～平成25年4月1日生まれ) の女子に個別通知します。 ※中学2年生～高校1年生 へは、以前に通知済みで すが、予診票を紛失した場 合または小学6年生で接 種を希望される方は健康 推進課へお問合わせくだ さい。
		ガーダシル (4価)		3回		
		シルガード9 (9価)	3回 (2回)*			
 厚生労働省ホームページ 子宮頸がんとHPVワクチン						



厚生労働省ホームページ
子宮頸がんHPVワクチン

～公費による子宮頸がんワクチン接種期間延長について～

昨年夏以降の大幅な需要増により、HPVワクチンの接種を希望しても受けられなかった方がいらっしゃる状況を踏まえ、2025年3月31日までに接種を開始した方は、全3回の接種を公費で完了できるようになりました。対象者は1997（平成9）年度～2008（平成20）年度生まれの女子で、2022年4月1日～2025年3月31日までにHPVワクチンを1回以上接種した方になります。延長期間は2026（令和8）年3月31日までにとなりますので、この期間までに全3回の接種を終了してください。